

令和2年度 小林市立南小学校 自己評価書

NO. 2

評価段階 4：期待以上 3：ほぼ期待どおり 2：やや期待を下回る 1：改善を要する

学校経営
ビジョン

○ 一人一人主体的に「確かな力（知・徳・体・食）を身に付け、自信と誇りをもち、夢や希望の実現を目指す自立した人材を育成する。
— かしこく やさしく たくましく —

〈徳 育〉

○ よい行いを考え、行動し、互いに思いやる子どもの育成

項目	本年度の重点目標と 目標達成のための手段	具体的な数値目標等	具体的な取組状況	自己評価		結果の考察・分析 及び改善策等
				取組別	総合	
徳 育	1 自主的・自発的な態度の育成	◎ 環境美化活動の充実（清掃、整理整頓、花植等） ○ 係活動、委員会活動の主体的取組への支援	○ 昼休み→手洗い→清掃の流れが定着し、スムーズに清掃活動への移行が行われている。無言清掃については適宜その場指導や放送等で呼びかけていく。 ○ 学級活動での係活動の活性化や各委員会による取組、朝のボランティア活動等により主体性をもたせた活動の推進を図る。	3		・清掃へのとりかかりはよくなってきたが、無言清掃については今後も継続して指導していく。 ・各行事が中止・縮小され、高学年の活躍の場が減ったが、朝のボランティア等の取組を進んで行っていた。
	2 基本的生活習慣の形成	○ 「みなみっ子の一日」の活用と見届け（返事、挨拶、廊下歩行等）	○ 年度初めに「みなみっ子の一日」を使っ ての学校のきまりを確認する。 ○ 本年度は、特に、返事・整理整頓の指導を重点的に行っていく。	2	3	・あいさつ、廊下歩行について繰り返し指導が必要である。 ・返事・整理整頓は意識して取り組む姿が見られた。 ・危険な行為が見られた場合は、必要に応じて緊急の全体指導を行ってきた。
	3 問題行動（いじめ・不登校等）の未然防止と早期発見・早期解決	◎ 問題行動の未然防止 ○ いじめ・いじめ様事案の100%早期解決 ○ 不登校傾向児童に寄り添う対応	○ 毎月アンケートを実施し、実態の把握、教育相談を行うことを通して、問題行動の早期発見、早期解決に努め、「いじめ不登校対策会議」を開催し、全職員で共通理解を図る。 ○ Q-Uテストの実施を通して、学級の実態を把握し、望ましい学級集団の形成に努める。	3		・全職員で共通理解を図ってはいるが、具体的な手立てを考えていく必要がある。 ・Q-Uテストの分析後の変容を見ていく必要がある。
	4 道徳教育・人権教育の充実	○ 他を思いやる心、命の大切さの常時指導 ○ 道徳科学習の充実	○ 「西諸人権の日」に合わせ、7月の参観日では人権に関する学習の授業参観を実施した。12月には人権週間を設定し、人権教室や人権研修を実施した。	3		・児童への人権教室、教員への人権研修は充実していた。 ・学級活動の年間計画に見直しをしていく。

